

文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会
世界文化遺産特別委員会（第2回）
議事要旨

- 1 日 時 平成 25 年 7 月 10 日（木）14:00～15:30
- 2 場 所 中央合同庁舎第7号館東館（文部科学省）3階 3F1 特別会議室
- 3 出席者 （委員）西村幸夫委員長，稲葉信子委員長代理
岡田保良委員，小野昭委員，河野俊行委員，
小浦久子委員，斎藤英俊委員，佐藤禎一委員，
佐藤信委員，藤原恵洋委員，吉田ゆり子委員，
渡辺洋子委員

（部会委員/オブザーバー出席）

内田篤呉委員，神崎宣武委員

（文化庁）青柳長官，河村次長，山下文化財部長，
齊藤文化財鑑査官，高橋記念物課長，
北山世界文化遺産室長，石丸文化財国際協力室長，
土田専門官，村田参事官，小林主任文化財調査官，
佐藤主任文化財調査官，禰宜田主任文化財調査官，
西文化財調査官，その他関係官

4 議事要旨

議事のうち「第38回ユネスコ世界遺産委員会について」及び「富士山の保全状況報告書の取組状況について」は公開，以降は非公開で行うこととし，審議後に議事要旨を公表することとされた。

（1）第38回ユネスコ世界遺産委員会について

第38回ユネスコ世界遺産委員会（平成26年6月15日～25日，カタール，ドーハ）における主な審議結果について，文化庁から報告がなされた。

（2）富士山の保全状況報告書の取組状況について

富士山の保全状況報告への取組状況として「世界遺産富士山ヴィジョン（案）」の概要について，文化庁から報告がなされた。

（3）本年度の世界文化遺産推薦候補について

今後2年以内の推薦を希望する以下5件から，「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が，最も準備が整っており，文化審議会として推薦可能である

旨、部会へ報告することが了承された。

- (4) 今年度ヒアリング対象となった「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」以外の4つの案件（「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」「百舌鳥・古市古墳群」「宗像・沖ノ島と関連遺産群」）に関し、さらに検討を深める必要がある事項について特別委員会としての意見のまとめが行われ、文言の取りまとめが西村委員長に一任された。

- (5) 「ル・コルビュジエの建築作品ー近代建築運動への顕著な貢献ー」に関し、文化庁より、フランスをはじめ関係国が行っている準備の現状について報告がなされた。